

## スウェーデン\*

原子カグループ 研究主幹 高田 誠

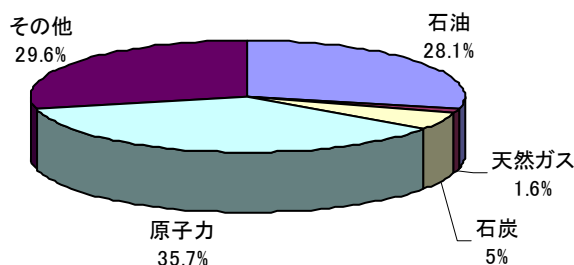
### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

スウェーデンは国内で石油・ガス資源を産出しておらず、全量を輸入に依存している。他方で、一次エネルギー供給の約 61% (2003 年) は国内生産であるが、その 50% 以上は原子力で、国内のウラン資源は不十分で海外のウラン資源に依存している。

- (1) 一次エネルギー供給量 52.17 百万石油換算トン (2005 年、日本の 9.8%)
- (2) 一人当たりの一次エネ供給量 5.78 石油換算トン/人 (2005 年、日本の約 1.39 倍)
- (3) エネルギー自給率 65.1% (2004 年)
- (4) エネルギー起源CO<sub>2</sub> 排出量 51.35 百万CO<sub>2</sub>換算トン (2005 年、日本の 4.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源CO<sub>2</sub> 排出量 5.64CO<sub>2</sub>換算トン/人 (2005 年、日本の 59.4%)
- (6) エネルギー別可採年数： 原油 N/A、天然ガス N/A、石炭 N/A、ウラン N/A (2004 年末)

一次エネルギー総供給構成 (2005 年)



(出所) IEA, 「Energy Balances of OECD Countries 2004-2005」 2007 Edition.

### 2. エネルギー政策のポイント

#### (1) エネルギー政策担当機関

スウェーデンのエネルギー政策機関は「企業・エネルギー・通信省 (Ministry of Enterprise, Energy and Communication)」で、「企業・エネルギー」大臣はマウド・オルフェソン (Maud Olofsson、前副首相) が務める。

#### (2) 基本政策

スウェーデンのエネルギー政策の基本は、環境面で持続可能な社会に向け、経済競争力

\*平成 19 年度に経済産業省資源エネルギー庁より受託して実施した受託研究の一部である。この度、経済産業省の許可を得て公表できることとなった。経済産業省関係者のご理解・ご協力に謝意を表すものである。

を確保しながら、安定的なエネルギー供給を確保していくことにある。また、スウェーデンは世界で最初の多国間卸電力市場である Nord Pool に参加するなど、電力部門の自由化に関して先進的な取り組みを推進してきた国である。

### (3) 最近の動向

2005 年 6 月、Barseback 原子力発電所 2 号機が閉鎖された。1999 年の同発電所 1 号機閉鎖後に電力輸入が増加し国内電力価格が上昇したことなどから、原子力支持の世論が高まり同発電所の閉鎖は計画より延期されていた。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

スウェーデンは原油および天然ガスを 100% 輸入に依存しており、2007 年 2 月現在、わが国との間でエネルギー関連の貿易は行なわれていない。

## 2. 主要エネルギー指標

(2005 年)

(1)	一次エネルギー供給量	52.17	百万石油換算トン
(2)	一人当たり一次エネルギー供給量	5.78	石油換算トン/人
(3)	GDP 当たり一次エネルギー供給量	0.19	石油換算トン/千ドル
(4)	エネルギー自給率	64.2	%
(5)	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	51.35	百万CO <sub>2</sub> 換算トン
(6)	一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	5.69	CO <sub>2</sub> 換算トン/人
(7)	一次エネルギー供給構成	石炭	5.0 %
		石油	28.5 %
		ガス	1.6 %
		原子力	36.2 %
		水力	12.0 %
		再生可能エネルギー等	17.2 %
(8)	エネルギーの輸入依存度 (エネルギー純輸入量/TPES)	38.5	%
(9)	石油の輸入依存度 (石油の純輸入量/石油の一次供給量)	97.5	%
(10)	輸入原油の中東依存度	5.6	%
(11)	原油輸入先 (2005 年)	第 1 位	ノルウェー
		第 2 位	ロシア
		第 3 位	ギリシャ

(出所) (1) ~ (4) および (7) ~ (9) は IEA-「Energy Balances of Non-OECD Countries」2007 (データベース)。 (5) ~ (6) は IEA-「CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 1971-2005」2007 Edition。 (10) ~ (11) は Blackwell-「World Oil Trade: An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements」、September 2007。